

百済文化祭に行ってきました！

キムシンヒョン 太宰府市国際交流員 金辛沄

皆さん、前回韓国コラム10月号で紹介した百済文化祭を覚えていますか？

百済文化祭は本市の姉妹都市扶餘郡で毎年開催される大きなお祭りです。本年はP4の記事のとおり扶餘郡を訪れ、姉妹都市承継10周年記念友好調印式を行うとともに、百済文化祭を見学しました！通訳として同行したため、私が見た百済文化祭を紹介したいと思います。

今回は「百済の光と香り」というテーマにふさわしい、さまざまなライトアップがされていました。まず立ち寄ったのは、昔、王官の後苑や百済滅亡期の最後の砦として利用されていた扶蘇山城です。華やかな明かりで建物が照らされ、さらに壮大な音楽で迫力を感じることができました。

百済文化祭のメイン舞台ともいえるグドゥレイイベント会場は、昔、「白村江の戦い」がその河口で行われたとされる大きな川の沿岸にあります。歌手が会場を大いに盛り上げ、多くの観客の熱気を感じることができました。

そして建物に入るたびにすごくいい香りがして、何の香りだろうとすごく気になっていたのですが、何と蓮の花の香りでした！蓮の花は扶餘の郡花で、扶餘を代表する花です。7月にはこの蓮の花をテーマにソドン蓮の花まつりが毎年開かれています。建物ごとに蓮の花の香りがするよう細かく準備したのもすごいと思いました。

今回は私たちが行ってきた百済文化祭について紹介しましたが、いかがでしたか？百済文化祭は来年も開催される予定ですので、今回のコラムに興味を持った人は来年訪問してみたいはいかがでしょうか？



扶蘇山城山門のライトアップ



夜の舞台の歌手と多くの観客

相手の気持ちを考えて 発言しよう 心のマスク

筑陽学園中学校1年 北島 樹さん (応募時)



季節の生け花

太宰府市華道連盟

篠原 静子 (太宰府市国分) 池坊流 花材 松、鶏頭、松扇、ホルト など

つれづれ

太宰府短歌会

朝露に可憐に咲いたほたる草 移ろい安く儂く美しく

石坂 永留 妙子

エリザベス女王逝去のニュースあり 戴冠式を若き日に観つ

福岡市 横山 タミ子

誰が言か秋思は無限春秋も 恋の愁ひもこの世に無限

青山 磯村 順一郎

ドボルザークの「母が教えてくれた歌に 心を洗ひ一日を終へる

都府楼南 猪俣 泰夫

少しずつ動き始める日常も 放生会にはチャンポンは無く

五条 大穂 聡子

太宰府俳句会

安息の大地の匂ひ末枯るる

東観世 中島 祝乃

年尾忌の吟行日和導かれ

観世音寺 山口 律子

畦道でおしゃべりしてる案山子達

連歌屋 吉嗣 のり子

朝刊を読んで一息文化の日

五条 兼田 和加子

銅の鍋を磨いて冬支度

小都市 宮原 勝彦

飛梅句会

夜寒さや阿蘇の星空震へをり

大野城市 田代 りえ子

溝川に触れんばかりに野菊垂れ

朝倉市 鶴田 ゆき

特急の通過してゆく駅夜寒

長浦台 徳賀 美智子

一句捨て二句目も捨てる夜寒かな

うきは市 中川 寿朗

大菊の青空に向く白さかな

うきは市 公畑 勲

宝満句会

杉玉の青々ありて新酒かな

大野城市 福岡 とみ子

グーチョキパー掴んで放す秋の風

高雄台 川路 泰子

駅毎に変はる町並秋の風

大佐野台 金丸 恵子

都府楼に残る二本の柿の秋

筑紫野市 名本 剛

梢高く一点の朱や木守柿

福岡市 工藤 友子

都久志てんじん句会

訪へば父母無き庭の露あまた

福岡市 北川 朴洋子

遠きふるさとひとり居の盆の月

福岡市 宮津 英里子

葉の上の無垢のひかりや朝の露

青葉台 彦坂 正幸

露の世の露の身と知る我もまた

福岡市 塩飽 たか子

花茗荷凜と咲きたる屋敷跡

筑紫野市 寺田 恵子

太宰府川柳倶楽部

人情の欠片を探す都市砂漠

水城ヶ丘 植村 克志

一人でもいつもふたりで生きている

福岡市 王丸 真知子

焼酎を熱燗に替え鍋つづく

春日市 大塚 茂

金継ぎに日の目をみたいひと欠片

都府楼 杉 良子

ストレスが溜り溜まってコップ酒

大野城市 高原 正和